

臨床力×人間力



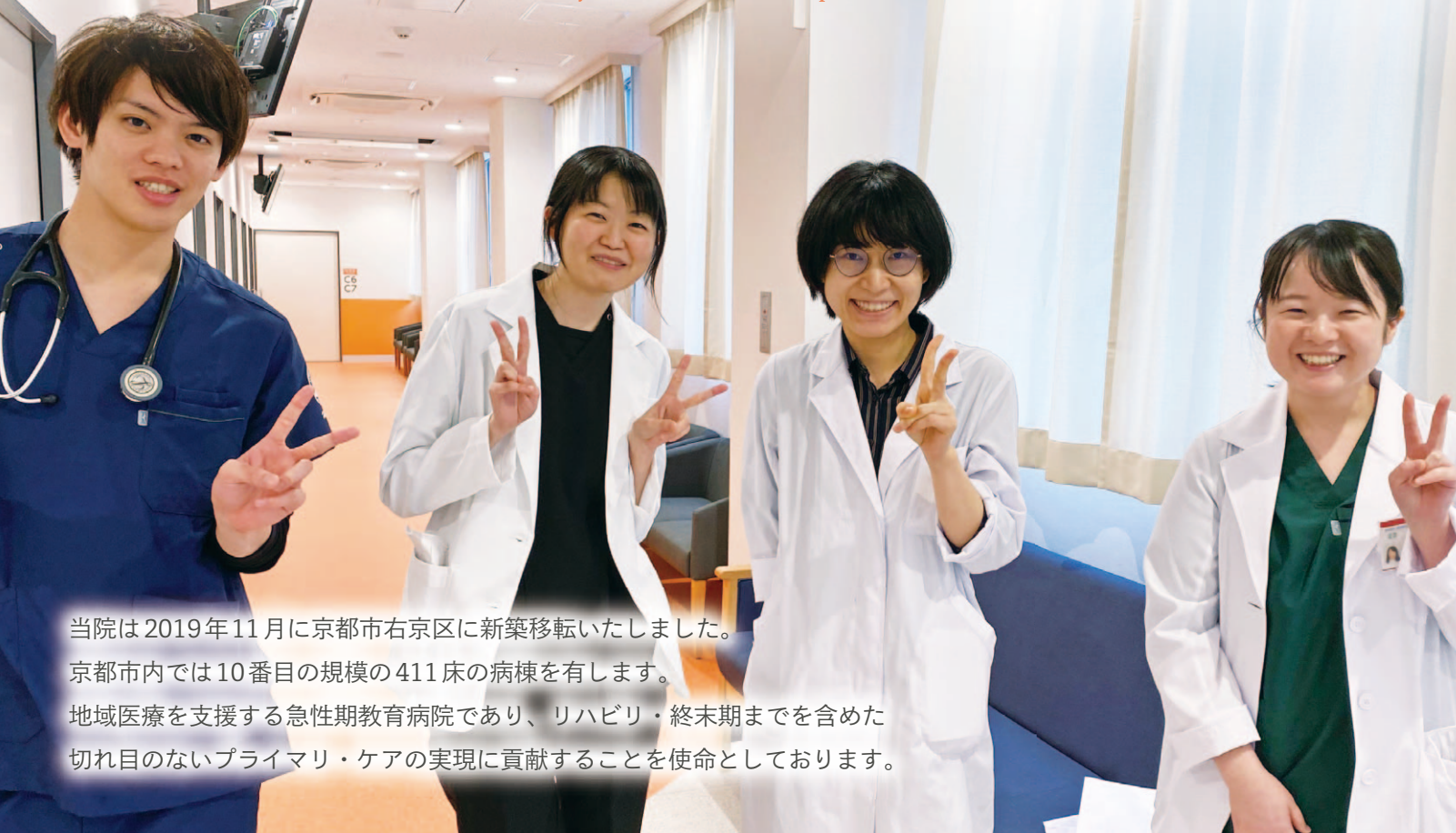
京都民医連中央病院 初期研修案内

京都民主医療機関連合会



ウェルカム! KMCH

Kyoto Min-iren Chuo Hospital



当院は2019年11月に京都市右京区に新築移転いたしました。
京都市内では10番目の規模の411床の病棟を有します。
地域医療を支援する急性期教育病院であり、リハビリ・終末期までを含めた
切れ目のないプライマリ・ケアの実現に貢献することを使命としております。

無差別平等の医療を実践します

戦後、医療に恵まれない人々の要求にこたえようと、地域住民と医療従事者が手を携え、病院・診療所などが各地につくられました。全日本民主医療機関連合会はこれらの連合体として1953年に結成されました。現在では、全国47都道府県に1,700ヶ所以上の事業所が加盟し、保健・医療・福祉の総合的な活動を行っております。

2019年秋 新築移転リニューアル



地域になくてはならない病院へ

新築移転先は京都市右京区の南太秦にあり、旧病院の約3倍の敷地面積となります。個室率を5%から40%へと引き上げて、大幅に療養環境を改善いたします。新病院開設で、医療の質の向上や地域連携推進の取り組みを強化し、更なる段階へステップアップしていきます。



●JR太秦駅より1.3km ●嵐電太秦広隆寺駅より600m
●地下鉄太秦天神川駅より1.0km ●市バス南太秦より10m

01

ご挨拶



公益社団法人 京都保健会
京都民医連中央病院
院長 松原 為人

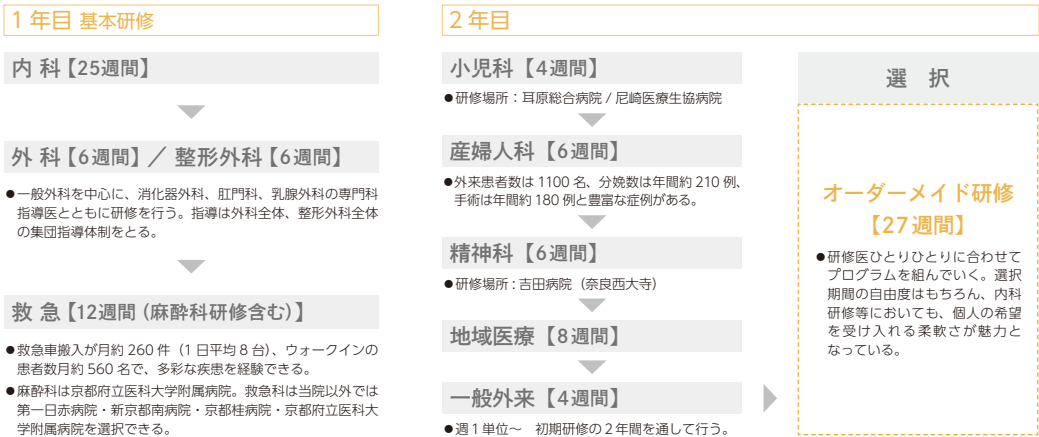
古くから培われてきた、各科、各分野、各職種
の垣根の低い協働と患者中心指向を武器に、
総合力を発揮し「からだ」の治療から「こころ」
「くらし」の課題まで積極的に取り組む、今や
世界の潮流となりつつある、ヘルスプロモー
ションの概念を隅々まで巡らした研修病院です。
豊富なフィールドで「一味違う」研修を通じて、
これからの時代の医師に求められる重要なコン
ピテンシーを高めませんか？

プログラム全体の流れ

02

最初の25週間(約6ヶ月間)は全員が内科からスタート。
あなたに合った「ちょうどいい」オーダーメイド研修をめざします。

研修ローテーション ※研修医ごとに、順序は変わることもある。



はじめの一步！総合内科グループの週間スケジュール

	mon	tue	wed	thu	fri	sat
早朝			内科抄読会			
午前	8:45～ 朝礼 10:00～ 総回診 総合内科カンファ	9:00～ 気管支鏡 ／神経内科回診	9:00～11:00 感染症ラウンド ／神経内科回診 病棟	10:00～ 総回診 総合内科カンファ	9:00～ 救急外来番	隔週 病棟
昼	救急振り返り 新入院カンファ	心電図セミナー	救急振り返り 新入院カンファ	救急振り返り 新入院カンファ	救急振り返り 新入院カンファ	
午後	ほぼ毎日行われるカンファ レンス。お互いの症例も学びあえます。	病棟 15:30～ 研修医会議	病棟	病棟 全体医局会議(第4週) 外部講師による 総合内科カンファ (月2回)	13:30～ 集中治療カンファ 16:00～ 内科・CPCカンファ 16:30～ 伊藤春海Dr胸部CT カンファ(月1回)	
夜	18:30～ 画像CTカンファ				京都GIMカンファ (第1週)	

【備考】当直を5月から週1回程度組み込む



適度な症例数と十分な教育





03

研修の特徴

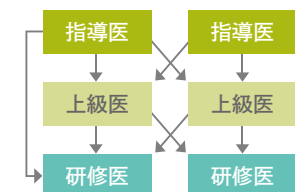
初期研修理念

地域に根差した幅広いフィールドでCommon Diseaseを多数経験し、チーム医療を通して、患者本位で安全安心の医療を実践できる臨床力をはぐくむことを目標とする。

「全員が指導医」と言っても過言ではありません。

厚い、熱い研修指導体制で 熱心できめ細かいサポートの中研修できます

研修指導体制は、屋根瓦方式を基本にマンツーマンの要素を取り入れています。概ね3～6年目の上級医が直接の相談役となり、7年以上の臨床経験を持つ医師が指導医となります。どの指導医でもコンサルトしやすい環境にあり、上級医に気軽に相談することができます。若手医師の層も厚く、ミルフィーユ方式と呼んでいます。



研修中に手技をしっかりと身に付ける十分な機会があります。

厚生労働省は研修中に行う手技の到達目標について、「経験すべき」としており必ずしも身に付けることを求めています。当院ではすべての手技項目について「できるようになる」ことを目標にしています。例えば静脈採血の集中期間を設け、病棟や指導医から研修医にコールしてもらうようにしています。このように2年後には医師として手技が身に付くことを目指しています。



↑当院の指導医が執筆している文献

基本的臨床能力評価試験

基本的臨床能力評価試験で2017年度459病院中16番目の成績を修めました。

基本的臨床能力評価試験は、臨床研修プログラムの客観的アウトカム評価を目的とした、初期研修医対象の臨床能力レベル評価試験です。

近畿で初の認定臨床研修に関する第三者評価

NPO法人卒後臨床研修評価機構による評価を受審し、2007年11月に認定されました。これは当病院の研修の質を客観的に評価したものです。近畿地方で初めての認定病院です。



研修で得られるもの

2年間で養う救急対応力

月約270件の救急車搬入と約610名の救急患者を受け入れています。2年間を通じて救急外来、当直を週1回ずつ経験します。指導医のもとで、全例をファーストコンタクトで診断し、入院の判断、治療方針まで対応することにより、初期診断能力を養うことができます。

実践能力を高める年間3回のOSCE

臨床現場での実践能力を高めるためにOSCEを取り入れています。年2回のコミュニケーションOSCE、救急初期対応能力と必要な手技についてシミュレーションを行い到達度を評価する救急OSCE、1年目研修のまとめとしてのOSCEなどを行っています。

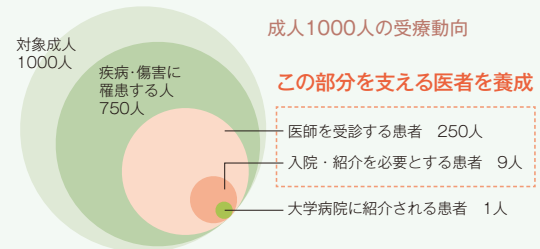
カンファレンス

外部講師を積極的に招き、教示いただいています。ケースカンファレンスやベッドサイドティーチングなどを行い、ケースカンファレンスでは研修医が交代で英語でのプレゼンテーションを行います。

プライマリ・ケア重視で数多くのCommon Diseaseを経験

当院は救急・一般外来から入院治療、退院後の生活相談、健診など予防医学も含めた対応力を身につけることも研修上重視しています。

内科・外科病棟も臓器別でない混合病棟であり、Common Diseaseを十分に経験することができます。





05

研修医の待遇

研修を改善する権利と、発言機会・行動の自由があります。

待遇

- 雇用形態 常勤職員
- 休 暇 4 週 6 休 年次有給休暇
夏期休暇 年末年始休暇 その他
- 社会保険 健康保険、労災、雇用保険、年金、共済制度完備
- 給 与 1 年次(基本給+手当)
409,000 円/月(税込み・当直代別)
※賞与あり
2 年次(基本給+手当)
429,000 円/月(税込み・当直代別)
※賞与あり
- 手 当 当直手当、家族手当、住宅手当等

取り組み

研修医会議

議長(研修医から選出)のもと、研修内容を交流し、研修に対する意見や要望を提案する場になっています。週 1 回開催。自ら学習会を企画するなど研修医が自主的に運営しています。

女性 Dr. が働きやすい職場は男性 Dr. も働きやすい！

- ☒ 産休・育休
- ☒ 育児中の当直/夜間勤務の免除
- ☒ 常勤医師の時短制度
- ☒ 病児保育への補助制度
- ☒ 女性医師専用の休憩室
- ☒ 敷地内に病児保育所開設(2020 年 6 月予定)

教育研修センター

医療専門職としての自覚をもった職員の生涯教育、および職場の役責者や幹部教育をおこなう拠点となります。PC 室やクリニカルシミュレーションルームなどを配置し、全職員の利用が可能です。

図書室

- 国内図書:1,288 冊
- 国内雑誌:96 種類
- Medline 等の文献データベース:有
- 教育コンテンツ:有
- 国外図書:751 冊
- 国外雑誌:68 種類

実習案内

実習案内

研修は医師人生の第一歩。4病院27診療所をはじめとする、京都でも最大規模の医療・福祉ネットワークだからこそ、あなたのなりたい医師像が見つかるはずです。まずは見学にお越しください。

- 対象 1年生から6年生まで
- 実施日 平日の診療がされている時間であればいつでもできます。希望があれば当直もできます。
- 実習・見学先 京都民医連中央病院、京都民医連の関連施設
- 食事 こちらでご用意します。
- 参加費 無料 ※白衣は貸与できます。
- 交通費 当院規定により交通費支給

06

専攻研修案内

初期研修から専攻研修へ



“患者さんのこれから”も
見通す診療

前川 高洋
京都協立病院
専攻医 3年目

北部での研修を選んだ理由の一つは、まず、自分が本当に総合診療、または家庭医の道を目指すに当たってこれからどのような事が必要なのかを知る為でした。患者さんやご家族などと密に接して、一緒に患者さんのこれからを考えて行くという過程はなかなか大学病院では学べる事は多くなく、北部での医療はまさにこれら全てが必要となる絶好の場所であったと考えています。自分で複数の科にまたがる疾患を診て、様々な医療スタッフと、家族の方々、そして患者さんと相談しながら治療を進めて行く医療は自分にとっては理想の医療であり、そのような医療を実践できるこの場所は医師として一番大切なものを提供してくれる場所なのではないかと感じています。



豊富な症例で
成長を実感

松田 航一
京都民医連中央病院
専攻医 3年目

初期研修から引き続き、内科専攻医として研修を行い、主治医として多くの疾患を経験しています。今年度から新専門医制度に変更となり、内科専門医獲得のためには多くの症例の経験が必要となったため、当初は症例数が足りるのか不安がありました。しかし、指導医の先生方が常に気にかけてくださり、順調に経験症例数を増やしています。専門分野への研修の前に基本的な知識や思考過程を学び、患者さんに向き合った医療を経験できていると思います。

2020年度 専攻医募集プログラム

内科／定員8名

京都民医連内科専門研修プログラム

基幹施設 ● 京都民医連中央病院
初期臨床研修指定病院

総合診療科／定員2名

京都家庭医療学センター
総合診療専門研修プログラム

基幹施設 ● 上京診療所
家庭医・診療所志望対応

総合診療科／定員2名

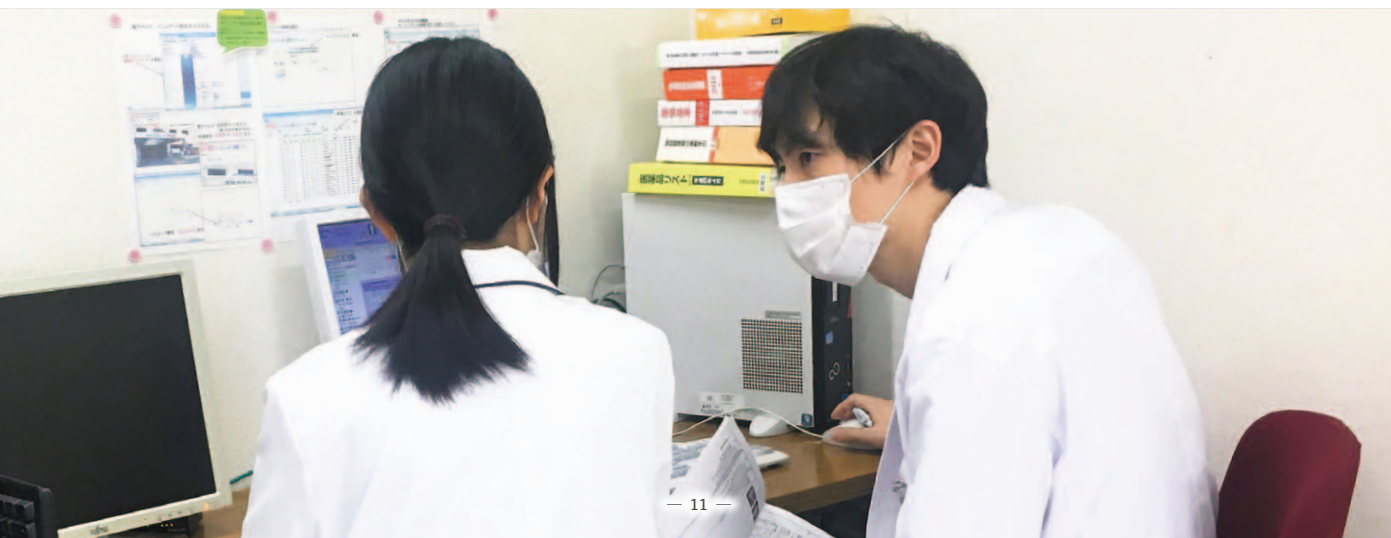
京都民医連中央病院
総合診療専門研修プログラム

基幹施設 ● 京都民医連中央病院
病院総合医志望対応

総合診療科／定員2名

京都北部
総合診療専門研修プログラム

基幹施設 ● 京都協立病院
病院総合医・地域医療志望対応



いのちの物語

生と死とどう向きあうか。
患者さんとどう向きあうか。



どんないのちも 取り残さない

京都協立病院 院長 玉木 千里

「先生、わしはもう十分生きました。戦争で仲間が死んでいくのをすぐ近くで見えてきました。それからは私はもう死に体なんです。今は余生なんです。」

患者が紡ぐいのちの物語。その物語には本人の生き様、価値観、想い、周囲への愛情が色濃く投影されている。そして遺族には、その生身のことばこそが、ぬくもりを残したまま生きた証として語り継がれていく。

今、超高齢社会や貧困、格差を背景に、現代医療では治せない、歯が立たないような複雑で正解のない問題を抱えたケースが蔓延している。Multimorbidity(多疾患併存)という用語があるが、いくら医学研究が進歩して個々の疾病メカニズムの解明が進み、新しい治療薬が開発されたとしても、一人の人間に併存した疾患すべてにガイドラインを当てはめることはできない。

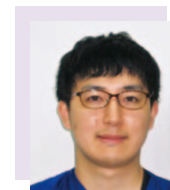
医学の進化の裏で、こころが取り残されて、孤独や虚しさ押し殺して生きている患者さんがいる。私たち総合診療医は、取り残されている患者さんのこころをすくい(救い)上げることが大切な仕事と思って日々診療をしている。現代医療に取り残された患者のこころを救うために、今日もいのちの物語に耳を澄ませる。そんな医療をこれからも続けていきたい。



専攻医 2年目
扇谷 知宏

医師という仕事

「医師の仕事」とは何かを考えた時、一昔前なら「病気を治すこと」といえば正解だったと思います。しかし、現在はそれでは足りません。医師の使命は「患者の人生をより良いものにする」ことです。病気を治すことはその一手段にすぎません。他にも身に付けるべきことが非常に多いのです。当院には病気を治す以外にも患者の人生を支える手段をたくさん身につけることができるフィールドがあります。人を幸せにする手段を多く持つ医師を目指したいと思います。



専攻医 1年目
植田 寛生

疾患ではなく人を見る

家庭医は、「あなたを専門にしている医師」であると言われる。疾患だけではなくその人のまるごとをみる家庭医に憧れていた私にとって、中央病院での研修は理想的な環境でした。研修が始まった当初は「疾患」をみるだけで精一杯、心理・社会的背景まで目を向けることはできませんでした。しかし、当院では医療と福祉の専門家が連携して、心理・社会的問題に介入しており、研修中はそのことを振り返る機会が多々あります。その人のまるごとを常に意識して診療できる環境は私にとってまさに理想的な環境でした。



2年目初期研修医
毛利 由衣

健康を守るパートナーとして

医療現場では情報・感情のメッセージが日夜飛び交っていますが、そこには患者さんのいのちが、生活が、人生が宿っています。それらを探知・解読し、適切な形で返すという技術は医療者にとって最も重要と言えますが、一朝一夕で身につくものではありません。受信・送信エラーを繰り返し、地域の皆さんの健康な人生を守る大切なパートナーになれるよう、私たちは医療者として、病院として発展し続けています。そんな温かな環境で医師として働いていることを私は誇りに思います。

07

07

いのちの物語

京風研修 はじめませんか。

異なる地域、特徴を備えた研修施設

京都府内の4病院、27診療所をはじめとする協力施設を生かし、患者様一人の外来から入院、退院後の施設入所や在宅までをまるごと学ぶことが可能です。

- 病院 (4病院)
- 診療所 (27診療所)

臨床研修のセンター病院

基幹型

公益社団法人 京都保健会

京都民医連中央病院

〒616-8147
京都市右京区太秦土本町2-1
TEL. 075-861-2220
FAX. 075-882-5781



公益社団法人
信和会

京都民医連あすかい病院

〒606-8226
京都市左京区田中飛鳥井町89
TEL. 075-701-6111 FAX. 075-781-9892



公益社団法人
京都保健会

京都協立病院

〒623-0045
綾部市高津町三反田一番地
TEL. 0773-42-0440 FAX. 0773-42-9459



公益社団法人
京都保健会

上京診療所

〒602-8305
京都市上京区千本通寺之内下ル花車町482-2
TEL. 075-432-1261 FAX. 075-432-1345



公益社団法人
京都保健会

ファミリー クリニック 仁和診療所

〒602-8373
京都市上京区仁和寺街道御前西入下横町217
TEL. 075-462-1510 FAX. 075-464-5791



民医連綱領

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。

戦後の荒廃のなか、無産者診療所の歴史を受けつぎ、医療従事者と労働者・農民・地域の人びとが、各地で「民主診療所」をつくりました。そして1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を結成しました。

私たちは、いのちの平等を掲げ、地域住民の切実な要求に応える医療を実践し、介護と福祉の事業へ活動を広げてきました。患者の立場に立った親切でよい医療をすめ、生活と労働から疾病をとりえ、いのちや健康にかかわるその時代の社会問題にとりくんできました。また、共同組織と共に生活向上と社会保障の拡充、平和と民主主義の実現のために運動してきました。

私たちは、営利を目的とせず、事業所の集団所有を確立し、民主的運営をめざして活動しています。

日本国憲法は、国民主権と平和の生存権を謳い、基本的人権を人類の多年にわたる自由獲得の成果であり永久に侵すことのできない普遍的権利と定めています。

私たちは、この憲法の理念を高く掲げ、これまでの歩みをさらに発展させ、すべての人が等しく尊重される社会をめざします。

- 一、人権を尊重し、共同のいのちと命としての医療と介護・福祉をすめ、人びとへのいのちと健康を守ります
- 一、地域・職域の人びとと共に、医療機関、福祉施設などの連携を強め、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます

- 一、学問の自由を尊重し、学術・文化の発展に努め、地域と共に歩む人間性豊かな専門職を育成します
- 一、科学的で民主的な管理と運営を貫き、事業所を守り、医療・介護・福祉従事者の生活の向上と権利の確立をめざします
- 一、国と企業の責任を明確にし、権利としての社会保障の実現のためにたたかいます
- 一、人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります

私たちは、この目標を実現するために、多くの個人・団体と手を結び、国際交流をはかり、共同組織と力をあわせて活動します。

2010年2月27日
全日本民主医療機関連合会 第39回定期総会

京都民医連中央病院

TEL.075-861-2220 e-mail kmch.igakusei@gmail.com 担当: 医局事務課 宮本
FAX.(医局直通) 075-861-2539

京都民医連中央病院

検索



Web



facebook